

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月21日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【既設多核種除去設備建屋における負傷者の発生について】 既設多核種除去設備建屋内において、放射線管理業務を行っていた協力企業作業員が、作業エリアへ向かう途中で階段を降りた際、床面の段差に躓き足を捻り負傷。 構内救急医療室にて右足関節捻挫および右5趾中足骨近位端骨折と診断。処置を実施。	GⅢ	1月16日
2	【構内工具管理センターで管理している貸出し用工具の測定精度逸脱について】 構内工具管理センターで管理している貸出し用トルクレンチ※の定期検査の結果、4本に測定精度の基準値逸脱を確認。 当該トルクレンチは、貸出し実績が無いことから、機器等への影響なしを確認。 今後、当該トルクレンチを調整する。 ※トルクレンチ:ボルト・ナット等を規定のトルク値で締め付けるための測定工具	GⅢ	1月17日